

CQ 8-2

てんかん重積状態に使う薬剤はなにか

推奨

図1にてんかん（けいれん）重積状態での治療フローチャートを示す¹⁾（**グレードC**）.

文献

- 1) Recommendations of the Epilepsy Foundation of America's working group on status epilepticus. Working Group on Status Epilepticus. JAMA. 1993; 270(7): 854-859. (エビデンスレベルⅣ)

検索式・参考にした二次資料

PubMed（検索2008年9月9日）

“Status Epilepticus/drug therapy” [Mesh] AND (first-line OR first-choice) = 49件
医中誌ではエビデンスとなる文献は見つからなかった.

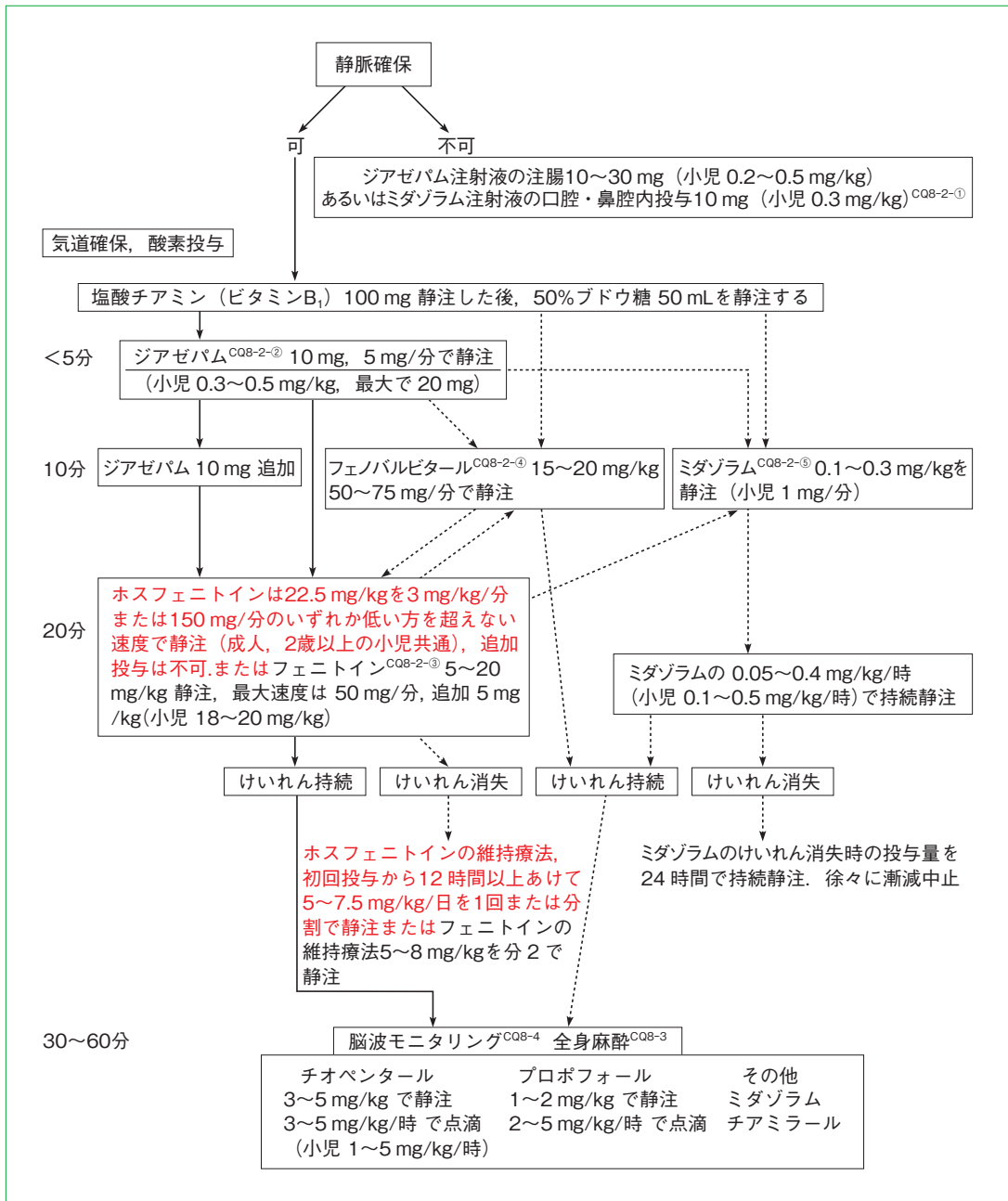


図1 てんかん重積状態の治療フローチャート

- *1: 括弧内は小児量. 右肩の数字は本文中で説明している項目を表す.
- *2: ある薬剤を投与し, 血中濃度を測定すれば, その薬剤が分布する容量がわかる. この容量を分布容量 (Vd) という. 3者の関係は, 血中濃度増加分 (mg/L) = 投与量 (mg) ÷ 体重 (kg) ÷ Vd (L/kg) である. フェニトインの Vd は 0.7 なので, 希望する血中濃度と体重がわかれば, フェニトインの投与量は算出できる.
- *3: フェニトインを投与する場合は, 血中濃度の推移は個体差が大きいに注意する. 特に高用量では血圧低下などの副作用に注意する.
- *4: 栄養障害性急性脳症であり, ビタミン B₁ の急速な消費により惹起される Wernicke 脳症では, ブドウ糖の投与がけいれんを増強することがあるために, 病歴が不確かなときは, 糖を投与する前にビタミン B₁ 100 mg を静注する (エビデンスレベル IV)¹⁾.
- *5: 実線は標準的な治療, 破線は別の選択肢を示す.